

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

# 園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和2年7月22日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



いよいよ夏休みが始まります！  
～ 楽しい思い出をいっぱい作ってね！～

早いもので明日から夏休みに入ります。1学期は6月15日から始まり、わずか1か月間でしたが、子どもたちは見事に「幼稚園っ子」に育ってくれました。

年少児は、今では朝の支度からトイレまで、真似っ子ながらも自分でやろうとするようになりました。「おはようございます」のご挨拶も幼稚園の歌(園歌)もとても上手。幼稚園生活に見通しをもちだし、安心して過ごせるようになったのでしょうか。

年中児は、保育室が二階へと移動したのですが、玄関ホールでお家の方と別れるため、不安な気持ちを抱く子どももいました。しかし、新しい担任の先生に励まされながら、学習遊びや体育遊びにもチャレンジすることができました。よく頑張りましたね。

年長児は、やはり見事に「年長さん」になっていて、落ち着いて幼稚園生活を過ごしています。

幼稚園で過ごす一日一日が子どもたちにとって貴重な学びの経験となり、確かな成長へとつながっていることに嬉しく思います。子どもたちの声が響く幼稚園、しみじみと有難く思っています。一学期、保護者の皆さまからいただいたご協力に感謝申し上げます。



## 個人懇談会

～ よりよい情報交換の場 ～

1か月ほどで終えた一学期。幼稚園での子どもたちの姿を十分にとらえきれていないこともあるかと思えます。幼稚園でのお子さんの姿をお知らせすると同時に、お家での様子もお教えいただきたいと考えています。二学期からの保育にむけて、有意義な情報交換の場となりますよう、また、短時間ですので、ご協力をお願いいたします。



今年も夏祭りが中止になり残念ですが、少しでも子どもたちに楽しい夏休みをと、保護者会からプレゼントをいただくことになりました。ありがとうございます。楽しい思い出を作ってくださいね。

## 「気持ちを立て直す」

- 抱っこが一番 -



ある日のことです。玄関ホールでお家の方と別れづらそうにしている年中さんがいました。偶然通りかかったので「おはようございます」とお声掛けしながら、「いっしょに行こう!」という、もう一度お家の方にギュッと抱っこしてもらって、私と手をつないで保育室へむかいました。

階段を上がり切ったところで立ち止まり、リュックと水筒を自分でもつつぶやきました。そして、ポケットからハンカチを取り出し、涙を何度も何度も拭いて、保育室へと歩き始めました。自分の気持ちを懸命に立て直そうとしている幼児の姿に思わず心打たれながら、少し後ろから付いていきました。

すると、大好きな先生が「おはよう! ○○ちゃん!」といつもと変わらぬ優しい笑顔で出迎えてくれました。○○ちゃんは、何事もなかったかのように保育室に入っていました。先生は私に気づき、目で合図を合いました。後で、この健気な姿を伝えたことはいうまでもありません。

前回、4歳から5・6歳にかけて感情が豊かに成長していく時期だとお話しましたが、ちょっとつらいことや悲しいこと、不安なことに出会うことによって、それらを乗り越えて気持ちを立て直す力が育つのですね。

もちろん、担任には、自分で気持ちを立て直した○○ちゃんのことを知らせ、お帰りのときに心配されていたお家の方に伝えてもらいました。

このように、お家の方の知らない幼稚園(お外)で、子どもたちは一人で頑張っています。だから、抱っこのご褒美は、年中になっても年長になっても、これからもずっと要求されるまで存分にしてくださいね。

私たち大人ができることは、応援団になること、主役は間違いなく、「子ども」なのですから!



## 『プレゼント』



今年も夏祭りが中止になり残念ですが、少しでも子どもたちに楽しい夏休みをと、保護者会からプレゼントをいただくことになりました。ありがとうございます。楽しい思い出を作ってくださいね。